



Alma Mater

白陵

■白陵会事務局 〒676-0827 高砂市阿弥陀町阿弥陀2260(白陵高等学校内) TEL.079(447)1675(代) FAX.079(447)1677  
URL:http://www.hakuryokai.jp E-mail:info@hakuryokai.jp



## 退任ごあいさつ

— 白陵会設立五十周年を  
振り返って —



前会長 三期生  
沼田 好道

平成二十七年十一月七日に開催した白陵会五十年記念総会には、実に三百名を超える過去最大の皆様がお集まりくださいまして誠に有難うございました。

昭和四十一年三月に一期生百二十一名でスタートした私たちの組織も、平成二十七年三月に五十年生を迎え、会員総数は八千六百三名を数えております。

思い返せば、故三木省吾園長先生に、「我が母校・白陵」と云う意味の『Alma Mater 白陵』と名付けて頂き、昭和五十六年に発行した会報創刊号に、私達の道標となるお言葉を寄せて頂いております。「私は、どうか皆さんの一人一人が、それぞれの場で、学園道路に植えたこの樫のような巨木になられることを祈ってやみません・・・白陵と云う巨木が、末永く聳えることを心から願っております・・・」この園長先生のお言葉を

銘板に刻んだ総重量二トンの黒御影石台付き「日時計」を五十周年の記念碑として母校に建立し寄贈させて頂きました。「白陵その名、白陵われら」と高らかに歌い上げた総会の感動が今も心に残っております。

さて、私事ですが、このたび五十周年記念総会を最後に会長を退任することに致しました。平成二年六月に黒川芳一前会長（一期生）の後を引き継いで以来、実に四半世紀、二十六年間、会長を務めさせて頂きました。振り返ってみればあつという間ですが、この間、私は母校に頼って頂ける同窓会を提唱し思い切った支出削減と構造改革を行い、在任二十六年の間に約五千万円を本会より母校に寄付致しました。その他、五回の総会を挙行し、二〇〇五年より名簿発行を、名簿発行業者（サラト）に依頼することを断行し、現在に至っております。多くの皆様方のお力添えを得て今日まで職責を全うし得たことを心より深く感謝申し上げます。これからは、後任の天野泰文会長（三期生）を中心に、若い卒業期の役員さんが一層ご尽力くださいます。白陵会に新しい風が吹き込まれて益々充実した活動が展開されることを祈ってやみません。長年にわたりご指導、ご協力賜りまして誠にありがとうございました。同窓諸氏の益々のご活躍、ご多幸を心よりお祈り申し上げ、退任の御挨拶とさせていただきます。





会長  
会 長  
野 泰文

## 会長就任にあたって

平成28年7月9日白陵会役員総会において、沼田好道元会長からバトンタッチを受け白陵会会長に就任いたしました3期生の天野です。

我が白陵会は、昭和40年に同窓生の相互の親睦と母校白陵の発展を図ることを目的として設立され、白陵会会員は、1期から51期まで八、七〇〇名を超える同窓会組織に成長しました。そして、昨年50周年の節目を迎え、11月7日姫路キャッスルホテルにおいて、白陵会創立50周年記念総会が盛大におこなわれました。白陵創設者の三木省吾園長先生は、同窓会についてこう述べておられます。「どうか、卒業生のみならず、相い寄り、相い助け合って、各地域各職域に支部をつくり、それが枝葉となり、根を張り、幹を太らせて、白陵という巨木が、末永く聳えることを心より祈っております。」同窓会50周年を記念して学校に寄贈した日時計の台座にこの言葉が刻まれています。「研究と訓練」「独立不羈」「正明闊達」の我が校の建学の精神が脈々と現在まで息づき、卒業生ひとりひとりの財産となり、現在多くの卒業生が各界のリーダーとして活躍し、社会で大いに貢献する人材を豊富に輩出し、まさに「白陵という巨木が、末永く聳える」ようになってきております。

この伝統ある白陵会も既に50年の年月を経て、1期生が古希前の年齢に達しています。同窓生のことをOB (old boy) と言われていますが、現在の白陵会では私共のようなOld OBと卒業したての大学生のようなYoung OBが混在しています。同窓会組織はそのようなものと達観することも可能ですが、同窓会を更なる活性化し、魅力ある組織にするためには、Young OBを引き込み、活躍の場を提供することにあると思います。

我が同窓会の活動としては、白陵会総会、会報発行、白陵会名簿の発行などおこなっておりますが、これらの従前の白陵同窓会活動のほか、若い会員を取り込んだ新たな同窓会活動を考える時期にきていると考えます。

その他、白陵の卒業生の団体には、柔道部OB会などのクラブOB会や、各地区の同窓生の集まりである東京白陵会、加古川白陵会、姫路白陵会などがあり、職域同窓会としては兵庫県の医者歯医者集まりである陵医会、兵庫県庁白陵会、姫路市役所市役所白陵会など存在しています。これらの各同窓生の集まりと連携すれば、同窓の輪がさらに広がり、更なる母校への貢献も増すものと信じております。

今後とも白陵会の活動にご理解、ご協力くださるようお願いいたします。



校長  
校 長  
藤 興哉

## 白陵会の闊達さ

昨年の白陵会五十周年記念総会は大変見事な活気あふれる総会でした。白陵会の勢いをまざまざと感じさせるものでした。私も何とも言えない楽しい一時を過ごしました。その中で思ったことが二つあります。

一つは、皆様のご活躍はいろいろな形で耳にしますが、それを支えているのは何よりも自由さではないかということです。それは懇親会での自由奔放さ、闊達さに端的に出ています。白陵教育は「恐ろしい」というほどの厳しい指導が特徴でした。だとすると、ことは教育の本質に関わることで、厳しく、型にはめるような教育から、実は逆に本当に強く、自由を発揮する人が生まれてきたのではないか、と思つたのです。

今の自由な教育が悪いとは言いませんが、それが何を生んできたか、肯定的な評価ばかりではありません。その中で白陵は、学園長の時代が過ぎても、周りを見渡すとむしろ「古い」教育を行っている感があります。しかし教育は、表面的な変化の早さを競うものではなく、いつの時代もしっかりとした人間性を培い、勉強面を鍛えるというのが中心です。私は、卒業生の皆様の姿を拝見しながら、自信をもって白陵の校是に基づいた教育を行っていきたく思いました。

次に私的なことですが、私は教師生活の後半に五十周年の式典四つに関わりを持ち、そのうち二つは白陵においてでした。五十年が記念すべき年というのは、百年のちよūd半分だからではなく、組織として一番充実した時期になるからです。とりわけ白陵会はこの五十年間に卒業したすべての期生が健在で、いわば全員が日本社会の中核として活躍をしているということですから。今回の総会において、全ての期生のテーブルが見渡せたというのは、これ以上充実を絵に描いた場はありません。学校の五十周年の時に、「白陵は成熟期に入る」と言われました。それ以上に、白陵会は第一期全盛時代とでも言うべき時を迎えており、それは少なくとも三十年ほどは続くということだと思います。

学校の方も、白陵会に負けないようにがんばります。ご寄贈いただいた日時計のモニユメントはありがとうございます。四月から旧音楽・家庭科棟を改修して使用している生徒会棟とともに、新しい白陵の顔になっていきます。白陵会の今後ますますのご隆盛を祈念しております。





# 白陵会設立五十周年記念総会

平成二十七年十一月七日

白陵会設立五十周年記念総会  
 ということでそれにふさわしい  
 企画を検討し、動員目標を三〇〇  
 人に設定し、会報による案内だけ  
 でなく、白陵会ホームページ、  
 Facebook等の手段を用  
 いて参加者を募りました。その結  
 果、十一月七日(土)、姫路キャッ  
 スルグランヴィリオホテルには  
 目標を超える卒業生、関係者を迎  
 えることができました。

当日、ホテル一階では、理事・  
 各期代表幹事・校内幹事が受付  
 を行い、資料とともに記念品とし  
 て「白陵会五十周年記念総会」の  
 ロゴが入ったボールペンを手渡  
 しました。

総会ではまず関係物故者への  
 黙祷を行った後、会長より白陵会  
 が五十周年を迎えられたことへ  
 のお礼と、更なるご支援、ご協力  
 へのお願いがご挨拶として述べ  
 られました。その後、斎藤校長が、  
 五十年の歴史を振り返られ、会  
 の更なる発展を祈念して来賓挨拶  
 を述べられました。総会最後には  
 五十周年を記念して黒御影石の  
 日時計の寄贈式が行われ、沼田会  
 長より斎藤校長へ目録が贈呈さ  
 れました。

続いて、超満員の会場では、白

國紀行氏(六期生)からリニアモ  
 ターカー開発秘話など興味深い  
 お話を聴くことができました。

その後、懇親会では司会を放送  
 部OG二名が引き継ぎ、大いに会  
 場を盛り上げ、見事にその大役を  
 果たしてくれました。アトラク  
 ションとして抽選会が行われ、若  
 手議員が進行役をつとめました。  
 当選するとその名前がスクリー  
 ンに映し出され、大いに盛り上が  
 りました。当選者は壇上で景品を  
 出していたいただいた協賛者(卒業  
 生・関係業者)から景品を受け取  
 り、一言をいただきました。懇親  
 会のメにはステージに古参の先  
 輩方が結集し、宮崎教頭の音頭で  
 「白寮歌」が会場全体で熱唱され  
 ました。出席者全員が肩を組んで  
 合唱した姿はかつての運動会や  
 ファイアでの姿を彷彿とさせる  
 ものでした。そして圧巻の三〇〇  
 名超の集合写真撮影で懇親会も  
 幕を閉じました。

五十周年記念の総会に、三〇〇  
 名を越す出席者が一堂に会した  
 ことは白陵会の更なる発展の第  
 一步になったと思います。また、  
 ご参加いただきました皆様には  
 この紙面を借りて御礼申し上げます。



総会会場



来場風景



沼田会長挨拶



受付風景





元放送部員2名による司会進行



白國紀行氏(6期生)講演



懇親会風景



宮嶋茂樹氏(15期生)撮影写真展示



アトラクション「抽選会」



太田圭亮氏(23期生)バイオリン演奏



上田副会長お礼挨拶



寮歌斉唱



# 白陵軍団全員集合(21)

～ 姫路白陵会 ～



東京白陵同窓会、加古川白陵同窓会など、また、職域の白陵の同窓会はたくさんありますが、よく考えてみますと、地元の姫路市にて、姫路市や周辺地域在住者対象を目的とした同窓会は、今まで開催されていませんでした。同学年の同窓会やクラブの同窓会は盛んなようですが、地元には正式な白陵会がありませんので、白陵卒業生という関係だけで集まる機会は、特に必要性が認識されなかったのかもしれない。

しかし、せっかくの同窓が多数いらつしやるのに、自由に年齢関係なく情報交換できる場があつてもいいのではないかとということと、数年前から「姫路白陵同窓生情報交換会」という名目で、WEBや知り合いを通して同窓会を実施して参りました。

素晴らしい先輩や後輩に恵まれていることの、本当の意味は、社会人になってから発揮されます。そのネットワークを活用し、より社会に貢献したり事業に反映できることは、白陵の卒業生として、貴重かつ大変ありがたいご縁のお蔭であると思います。現在、有志スタッフで、毎年、2月の第2土曜日、8月の第4土曜日の年2回に、人数にこだわらず、姫路地域在住の同窓生が集まれる場として、実施しています。

毎回20名〜40名くらいの同窓生が参加いただいています。近隣にお住まいまたは勤務されている皆さん、ぜひ、ご参加ください。

案内は、下記のメーリンググループに登録いただくか、Facebookページでの発信でお気に入り登録いただき、情報をゲットしてください。直しくお願い致します。

メーリンググループWEBページ

<http://www.freeml.com/himeji-hakuryokai/>

Facebookページ

<https://www.facebook.com/himejihakuryokai/>

## 大学入試試験合格者数

国 公 立 大 学					
大 学 名	28年	27年	26年	25年	24年
東 京 大 学	16	22	14	18	25
京 都 大 学	15	13	20	21	14
大 阪 大 学	19	30	25	20	15
神 戸 大 学	17	15	16	19	14
東京工業大学	3	2	3	1	1
一 橋 大 学	1	1	2	1	5
岡 山 大 学	11	10	8	6	10
そ の 他	74	83	80	83	67
合 格 者 計	156	176	168	169	151
内医学部医学科計	38	37	50	37	43

私 立 ・ 海 外 大 学					
大 学 名	28年	27年	26年	25年	24年
早 稲 田 大 学	26	21	23	26	27
慶 應 義 塾 大 学	18	15	23	15	17
関 西 学 院 大 学	9	24	22	20	24
関 西 大 学	5	12	9	23	8
同 志 社 大 学	29	38	27	50	27
立 命 館 大 学	17	16	23	16	31
そ の 他	76	119	79	77	91
合 格 者 計	180	245	206	227	225
内医学部医学科計	32	39	21	21	30

※ 国公立大学集計に準大学を含む

## 白 陵 会 役 員 名 簿

役 名	期	氏 名	役 名	期	氏 名	役 名	期	氏 名	役 名	期	氏 名
会 長	3	天野 泰文	常任幹事(研シ)	6	大崎 章快	常任幹事(総務)	33	藤井 拓郎	常任幹事(総務)	48	建石 真一
副 会 長	2	湖中 明憲	" ( 総 務 )	7	萩本 義郎	" ( 総 務 )	33	北尾由美子	" ( 総 務 )	49	立石裕之輔
"	6	上田 喜裕	" ( 総 務 )	8	前川 裕司	" ( 総 務 )	34	上垣 孝俊	" ( 総 務 )	49	橋本 端季
"	10	服部 博明	" ( 総 務 )	9	手井 幸男	" ( 総 務 )	34	牧野 琢丸	" ( 総 務 )	50	池上 学歩
理事( 研 シ )	3	神吉 裕資	" ( 総 務 )	10	加藤 雅宣	" ( 総 務 )	35	阪本 覚	" ( 総 務 )	50	津田 彩花
" ( 会 計 ・ 総 務 )	4	岸本 和男	" ( 総 務 )	12	西庵 利彦	" ( 研 シ )	36	近藤 理恵	" ( 総 務 )	51	佐々木優一
" ( HP 委員 長 )	6	長野総一郎	" ( 広 報 )	13	矢野 善人	" ( H P )	36	杉岡 央基	" ( 総 務 )	51	笹久保茉奈
" ( 総 務 )	8	黒川 仁	" ( 総 務 )	14	片山 安孝	" ( 総 務 )	37	伊賀真紀子	校内幹事(広報)	1	芳木 健憲
" ( 研 シ )	9	村角 伸一	" ( 総 務 )	14	竹中 邦夫	" ( H P )	37	亀山 信生	" ( 総 務 )	3	黒田 洋
" ( 総 務 )	10	吉田 達哉	" ( 総 務 )	16	田中 正一	" ( 総 務 )	38	上野 紘之	" ( 総 務 )	6	福井 孝昌
" ( 広 報 )	10	下村 康夫	" ( 総 務 )	18	秋田 直樹	" ( 総 務 )	38	堀 素史	" ( 総 務 )	11	小紫 一貴
" ( 広 報 副 委 長 )	11	志方 正彦	" ( 総 務 )	19	牛尾 英樹	" ( 総 務 )	38	住吉 寛紀	" ( 総 務 )	12	畔上 昇
" ( 総 務 )	11	来栖 昌朗	" ( 総 務 )	21	河合 恵介	" ( 総 務 )	39	堂國久美子	" ( 総 務 )	12	山口 透
" ( 広 報 委 員 長 )	13	水田 堅	" ( 総 務 )	22	新田 智弘	" ( 総 務 )	39	根木 厚	" ( 総 務 )	12	中村 大吾
" ( 総 務 )	13	飯島 義雄	" ( 研 シ )	22	野津 康弘	" ( 総 務 )	40	赤澤 剛	" ( 総 務 )	14	久保 博彦
" ( 総 務 )	13	西田 吉充	" ( 研 シ )	23	中里 寛	" ( 総 務 )	40	廣江 祥子	" ( 総 務 )	15	村上 幸生
" ( 研 シ 委 員 長 )	15	町田 直隆	" ( 総 務 )	24	奥本 光廣	" ( 総 務 )	41	山本 梨加	" ( 広 報 )	15	西 善弘
" ( 総 務 )	15	福永 安洋	" ( 総 務 )	24	藤原 省悟	" ( 総 務 )	41	脇田 直人	" ( 総 務 )	37	神尾 祐輔
" ( 総 務 委 員 長 )	17	岡野 清和	" ( 総 務 )	25	多根 正明	" ( 総 務 )	42	賀川 拓哉	" ( 総 務 )	39	石岡 知久
" ( H P )	19	尾上 尚樹	" ( H P )	26	大西 康記	" ( H P )	42	宮崎はる香	" ( 総 務 )	39	清水美沙子
" ( 総 務 )	20	石井 秀武	" ( 総 務 )	27	山田 将義	" ( 総 務 )	43	野瀬 彩弥	" ( 総 務 )	45	牧野 嵩人
" ( 総 務 )	26	萩原 唯典	" ( 総 務 )	28	柿本 晴彦	" ( 総 務 )	43	八杉 佳奈	顧問(理事長)		三木 一正
" ( 総 務 )	29	山下 展成	" ( 総 務 )	28	上山 奉伯	" ( 総 務 )	44	立田 裕昌	" ( 校 長 )		齋藤 興哉
" ( 研 シ )	35	中村 亮太	" ( H P )	29	岡田 康裕	" ( 総 務 )	44	三木 綾子	" ( 教 頭 )	11	宮崎陽太郎
書記( 総 務 )	44	山田 祥五	" ( 研 シ 副 委 員 長 )	29	浜田賢太郎	" ( 総 務 )	44	柴田 理加	" ( 教 頭 )	2	大内 義博
会計監査(広報)	23	三木 健史	" ( 総 務 )	30	上新 貴弘	" ( 総 務 )	45	三浦 学登	" ( 特 別 参 事 )	2	川副 義文
" ( 研 シ )	35	安田 孝弘	" ( 研 シ )	31	後藤 大悟	" ( 総 務 )	45	向原 沙紀	" ( 元 会 長 )	1	遠山 寛
常任幹事(総務)	1	芝本真須美	" ( 総 務 )	31	酒井 雅史	" ( 総 務 )	46	藤本 美希	" ( 元 会 長 )	1	黒坂 康夫
" ( 総 務 )	1	正井 和野	" ( 総 務 )	31	木下 智晴	" ( 総 務 )	46	宮脇 規壽	" ( 元 会 長 )	1	黒川 芳一
" ( 研 シ )	4	森崎 晴知	" ( 総 務 )	31	村山 稔	" ( 総 務 )	47	戎 直哉	" ( 前 会 長 )	3	沼田 好道
" ( 総 務 )	5	塩崎 育男	" ( 総 務 )	32	酒井 勇人	" ( 総 務 )	47	中谷 英巴			
" ( 研 シ )	5	橋本 義仁	" ( 総 務 )	32	小澤有紀子	" ( 総 務 )	48	井上 千華			

(平成28年7月9日現在)



この日時計は、白陵会設立五十周年記念総会において、沼田会長から学校へ目録が贈呈されたもので、黒御影石の台座にブロンズ製の日時計と「Alma Mater 白陵」と「同窓会のみなさんへ」という「園長」三木省吾先生の言葉がエッチングされたステンレス製の銘板が設置されています。



黒御影石

設置にあたり、重さ約二トンある御影石が山梨県から丸一日かけて運び込まれました。日時計の設置は、南中時に晴天であることが絶対的条件であるため、事前に晴れの日を予測すること

銘板の「同窓会のみなさんへ」は、昭和五十六年に発行された「Alma Mater 白陵」創刊号に掲載された次の一文が、

がなかなか難しく、設置当日の午前中も曇天で、作業中止も検討されました。しかし南中時に雲の隙間から光が差し込むという「僥倖」に恵まれ、無事設置が完了しました。

三月一日には同窓会から沼田会長、天野副会長、学校側からは斎藤校長、大内教頭、生徒会代表らが出席して日時計除幕式が行われました。沼田会長より多くの白陵関係者の皆様の白陵会に対するご支援へのお礼と設立五十周年を記念して日時計を寄贈できた喜びの気持ちで述べられました。その後、沼田会長、斎藤校長、生徒会の長島君により除幕され、その素晴らしい雄姿が披露されました。これからこの日時計は、学校とともに成長していく白陵会の歴史を日々刻み続けていくことでしょう。

エッチングされています。「学園道路に高く聳える樺の並木は樹冠を空にさし伸ばし、すでにして巨木の風格を備えて見えます。私は、どうかみなさんのひとりひとりが、それぞれの場でこの樺のような巨木になられることを祈って止みません。今、自分の人生の中で、多少のかげりのある時期にある人も、逆に高揚の頂点におられる人も、これは長い人生の一時期に過ぎないと観じて、新しい目標に向かって、一歩一歩、真摯に生きて行くことではありませんか。人生は他人から教えられることの方が遙かに多い。良き先輩を持ち、またよき後輩に恵まれる。これは白陵の同窓会の特色でありましょう。どうか、卒業生のみなさんが、



相い寄り、相い助け合って、各地域各職域に支部をつくり、それが枝葉となり、根を張り、幹を太らせて、白陵という巨木が、末永く聳えることを心から願っております。」

昭和五十八年七月に園長先生が急逝され、学園の存続すら危ぶまりましたが、それを乗り越え「白陵」は五十年という歴史を刻み続けました。今では全国各地で卒業生が活躍し、多くの職域・地域で同窓会活動が活発に行われています。園長先生が「同窓会のみなさんへ」で述べられた想いはしっかりと根付いています。

これからも園長先生の想いを胸に「白陵」という巨木を日本に世界に聳え立たせていきましょう。



平成27年度 収支決算報告書

平成27年4月1日～平成28年3月31日

単位/円

収入の部	予算額	決算額	差異
前年度繰越金	12,458,761	12,458,761	0
会費収入	3,550,000	5,056,800	△1,506,800
終身会費	2,550,000	2,625,000	△75,000
臨時会費	0	0	0
総会費	1,000,000	2,431,800	△1,431,800
会費外収入	1,765,000	1,795,700	△30,700
名簿収入	10,000	7,600	2,400
広告収入	0	0	0
利息収入	5,000	2,866	2,134
雑収入	1,700,000	1,785,234	△85,234
寄付金	50,000	0	50,000
総会積立金繰入	1,000,000	1,000,000	0
合計	18,773,761	20,311,261	△1,537,500

支出の部	予算額	決算額	差異
事務費支出	215,000	128,272	86,728
消耗品費	30,000	3,892	26,108
印刷費	50,000	0	50,000
通信費	100,000	116,798	△16,798
支払手数料	30,000	7,582	22,418
雑費	5,000	0	5,000
会議費支出	650,000	807,017	△157,017
理事会費	250,000	252,302	△2,302
役員会費	300,000	489,070	△189,070
委員会費	100,000	65,645	34,355
事業費支出	3,578,000	4,091,644	△513,644
総会費	2,000,000	2,524,631	△524,631
名簿発行費	0	0	0
会報発行費	950,000	895,607	54,393
ホームページ維持費	108,000	105,192	2,808
卒業記念品費	350,000	369,576	△19,576
慶弔費	170,000	196,638	△26,638
備品費支出	0	0	0
OB会活動助成金	240,000	240,000	0
渉外費支出	110,000	60,000	50,000
予備費支出	500,000	2,577,960	△2,077,960
寄付金	2,000,000	2,000,000	0
小計	7,293,000	9,904,893	△2,611,893
総会積立金	200,000	200,000	0
次年度繰越金	11,280,761	10,206,368	1,074,393
合計	18,773,761	20,311,261	△1,537,500

平成27年度 会務報告

年月日	内容	年月日	内容
27.5.20	理事会	27.10.3	臨時役員会
27.6.13	定例役員会	27.11.7	50周年記念総会
27.6.27	東京白陵高校同窓会	28.1.26	理事会
27.6.27	加古川白陵高校同窓会	28.2.11	第51期卒業式
27.8.29	姫路白陵高校同窓会	28.2.13	姫路白陵高校同窓会
27.9.1	会報第35号発行	28.2.20	三会同正副会長会
27.9.16	理事会	28.3.1	50周年記念「日時計」除幕式

白陵会News

《ホームページ委員会からのお知らせ》

本年七月の白陵会会長交代により、天野新会長の元、各委員会も刷新されました。ホームページ委員会も私六期長野が担当することになりました。よろしくお願いたします。方針としては、現在のホームページの骨格はそのままにして、各コーナーの内容の充実を図ることとしました。特に次の二点を重点を置きました。

**充実1** 「活躍中の同窓生」のコーナーの充実

白陵会のホームページにアクセスする方の約半数は、白陵本学のホームページを見た方です。ですから、色々な分野で「活躍中の同窓生」は、興味あるコーナーと思われる。

**充実2** 同窓生間の情報提供の充実

残りの半数は、同窓生が直接アクセスしていると思われる。各期の同窓会の予定、クラブOB会の活動等、各幹事がこのホームページに書き込んでくだされば、より充実した内容になります。「同期会の案内・報告」及び「クラブ活動・OBOG会活動」のコーナーです。

\*各期の幹事の方、各クラブOB会の幹事の方、同窓会の幹事の方、ホームページに情報の書き込みをお願いいたします。書き込み方法については事務局までお問い合わせください。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

編集後記

二〇一六年人型ロボットが道案内をし、AIが恋愛相談をする時代になりました。「白陵会」も五十一歳、「知命」を越え、新たなステージへと突入しました。昨年の記念総会は、十代から六十代の同窓生が一堂に会した異世代交流会でもありました。「人は宝」といいます。世代を超えた「白陵会」には、まだまだ知られざる「お宝」がたくさんあります。

うです。会報でもその「お宝」を発見、「報告」していけたらと思います。  
岡野前広報部長と事務局勝山氏の「ご尽力」でこの第三十八号は無事発行することができました。また、今回は総会記念号として「カラー印刷」でお届けすることができました。全て卒業生の皆様のおかげです。どうかよりよい紙面の為ご存知の情報をお教えください。よろしくお願いいたします。  
T. M

白陵会物故者

- 福井行信氏(三期生) 平成二十七年八月 逝去
  - 植田泰弘氏(十二期) 平成二十八年一月 逝去
  - 児嶋倫也氏(四十八期生) 平成二十八年二月 逝去
  - 近藤幸生氏(十二期生) 平成二十八年四月 逝去
  - 三浦朝光氏(六期生) 平成二十八年八月 逝去
  - 田中秀樹氏(二期生) 平成二十八年九月 逝去
- 心より、ご冥福をお祈りします。

転退職教員紹介 平成二十八年三月

- 近藤泰直先生(技術) 平成二十七年四月～平成二十八年三月 一年間
- 本間純司職員(事務) 平成十四年三月～平成二十八年三月 十四年一ヶ月間
- 中井裕美子職員(養護) 平成二十五年十月～平成二十八年三月 二年八ヶ月間